



# 難波の梅小だより

学校通信 NO. 9  
平成 27. 12. 1  
難波の梅小学校

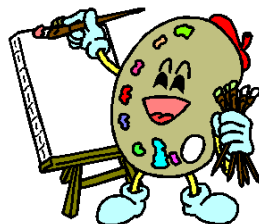
難波の梅小ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E04/index.html>

## 創る喜び見る楽しさの図工展！

校長 清 昌 司

落ち葉が風に舞う季節となり、追々寒さに向かう今日この頃ですが、地域・保護者の皆様にはご清祥にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

先だっの図工展並びにオープンスクールに、たくさんの保護者や地域の皆様にお越しいただきまして有り難うございました。また多くの方々から心温まるご感想を寄せていただきまして心から感謝申し上げます。一つの作品が完成するまでに、どれほどの試行錯誤と手直しがあったことか、子どもたちの粘り強い取組と、教職員の諦めさせない指導に大きな拍手を送りたいと思います。今年度の大きな成果を踏まえつつ、反省と課題につきましては再来年度の図工展に引き継ぎたいと考えます。ご鑑賞いただきまして本当に有り難うございました。



### —個人懇談ご苦労様でした—

10月末から11月始めにかけて個人懇談会を行いました。各教室とも寒い中での懇談でした。本当にご苦労さまでした。それぞれの子どもたちの成果と課題を踏まえながら、どの子どもよりよい育ちへと導いていきたいと考えています。それには各家庭との協力は不可欠なことであります。今後ともご理解・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

### —中庭コンサート—

11月6日(金)お昼休みに本校ブラスバンドによる中庭コンサートがありました。担当教員の出張や校内会議のある日以外はほとんど毎日練習に取り組んでいます。その成果がしっかりとでていた素晴らしい演奏会となりました。曲目は「千本桜(初音ミク)」、「花(喜納昌吉作曲)」、「赤とんぼ(山田耕筰作曲)」、「上を向いて歩こう(中村八大作曲)」以上の4曲でした。週初めの朝西門に立っていると、楽器ケースを重たそうに抱えて登校して来る子どもたちを何人も見ます。土日祝祭日にも練習をしているんだなあと感心します。今後ともご支援・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

### —くりのき読書週間—

11月9日(月)～11月13日(金)の5日間、“本と友だちになろう。心に残る一冊を見つけよう”のテーマのもと、「くりの木読書週間」を実施しました。読書週間中は一人あたり2冊の貸し出しや、図書委員会によるおはなし会が体育館でありました。また、11月11日(水)には読み聞かせボランティアグループ『ひまわり会』による絵本の読み聞かせや、ストーリーテリングなどのおはなし会が全学級の子どもたちでありました。教室の前の方に一本のろうそくを立て、幻想的な雰囲気を作り出し、見事な話術に子どもたちもファンタジーな世界へ引き込まれていました。

こぼと学級は「オオカミのごちそう」「どこいったん」等、あおば学級は「サンドイッチいただきます」「へびのみこんだなにのみこんだ?」等、1年生は「2ひきのよくばり小グマ」「かにかにこそこそ」「三枚のお札」等、2年生は「ネズミのすもう」「ひなどりとネコ」「あなのはなし」「すずめのあだうち」等、3年生は「うみのみずはなぜからい」「くわずにようぼう」「ゆめくい小人」「岩じいさん」等、4年



生は「みつつのねがいごと」「ほらあなさま」「明かりをくれ!」等、5年生は「妖精の丘が燃えている」「お話を知らなかった若者」「つるによぼう」等、6年生は「ねずみとくじら」「スーホの白い馬」等々でした。ひまわり会の皆さん、たくさんのお話を有り難うございました。

### —中央中2年生のトライやるウィーク—

読書週間と同じ週に中央中学校のトライやるウィークがありました。女子4人の卒業生が来て、朝の「あいさつ運動」から始まり、午前中前半は校務員さんの指導の下、見事な給食運搬台を作り上げ、後半からは2年生の各クラスに所属して子どもたちと一緒に学習活動に参加したり、休み時間の大縄跳びの練習や集団遊び、給食配膳の手伝い等、午後からは校務員さんの作業のお手伝いや大型紙芝居の練習など、5日間しっかりといろいろなことを体験しました。4人のトライやる生徒曰く「来週も来たい!」と言わしめた程充実していたようです。12月は日新中のトライやるウィークがあります。ちなみに「トライやるウィーク」の起こりは、平成9年であった神戸の児童連続殺傷事件が事の始まりです。犯人は当時14歳の中学生だったことから、県教委は当然大きなショックを受けました。それまでも「命の大切さ」については道徳の授業等で学習をしていましたが、「見たり、聞いたり」だけの学習だけではなく、「やったことが身となる」ような体験学習を通して「心の教育」の充実を図る必要があるとのことから、47都道府県で初めてこの「トライやるウィーク」が始まりました。今では多くの都道府県が似たような体験学習を取り入れています。



### —大縄大会—

11月17日(火)に2年・4年・6年の、20日(金)に1年・3年・5年の大縄大会がありました。朝練や放課後練、体育授業等で一生懸命に取り組んできました。その結果最も多く跳んだクラスは5年2組の536回でした。5年2組の皆さんおめでとう。お見事、あっぱれ!!

### —朝会の話(11月16日)より—

…一つ目です。先週の金曜日、児童生徒文化発表会、尼崎市小学校音楽会がアルカイクホールでありました。難波の梅小学校からは5年生が出演しました。合奏「ジブリ・メドレー」を演奏したり、歌「翼をください」を手話を交えて出演者全員で合唱しました。合奏は今までの中で一番揃っていた演奏だったと思います。四拍子と三拍子が入り交じったすごく難しい曲でしたが、リズムもあっていだし、最後の演奏が終わるところもピタッと揃っていたし、最高の出来映えでした。5年生の皆さん、ご苦労さん。

二つ目です。来週いよいよ図工展が始まります。毎日毎日必死の想いで作品作りに取り組んでいることと思います。時には嫌になったり、投げ出してしまいたくなったりしたことでしょう。指導してくださっている先生たちも必死です。大事なことは何でしょう。それは諦めずに最後までしっかりと仕上げることです。その皆さんの血と汗と努力の結晶をお家の人や地域の人たちに見せてやりましょう。

これから日に日に寒くなってきます。風邪などには充分に気をつけて下さい。「手洗い」と「うがい」だけで充分予防できます。

ある資料に、『子どもにかけてあげると「考える力」がグーンと伸びる魔法の一言』という、なる程と思った一文がありましたので紹介します。

日本の学校はこれまで、記憶力がものをいうシステムでしたよね。成績がいいとか頭がいいとか言われる子はみんな、記憶力が良くてテストの点が良い子。

でも、インターネットの登場で、実は記憶力はそれほど重要視しなくてもよくなりました。だって、知りたいことは、ネットで調べればすぐ分かりますから。

では、これからこういった能力が重視されるようになるのでしょうか?



それは“考える力”です。

今回、この力を伸ばす秘訣を、『グローバル社会に生きる子どものための—6歳までに身につけさせたい—しつけと習慣』の著者・平川裕貴がお伝えします。

子どもに「どうして？」と聞いてあげよう

実は、いつも子どもにかけてあげると、考える力が伸びる魔法の一言があるのです。それは、「どうして？」あまりにも簡単な一言ですよ。

本当に、たったこれだけ。信じられないでしょう？

この一言、英語では「Why」です。「Why？」は欧米では日常頻繁に使われています。

そして、今ビジネスの世界で盛んに言われている、欧米人の“論理的思考（クリティカル・シンキング）を育てる、”といっても過言ではありません。

そのため、ぜひ子どもが小さいうちから、「どうして？」という質問を常に投げかけてください。

おねだりされた時も「どうして？」を

例えば、何かをほしいと言った時、どうしてそれがほしいのか聞きましょう。

子ども「あのおもちゃがほしい」

父母「どうして？」

子ども「だって、みんなもってるもん」

父母「どうして、みんなもってるの？」

子ども「だって面白いもん」

父母「どこがどうして面白いの？」

子ども「このおもちゃでいろんなものが作れるから。

〇〇とか、××とか・・・」

他にはどこかに行きたいと言った時は、どうしてそこに行きたいのか聞く。

何かが好きだと言った時は、どうしてそれが好きなのか聞く・・・

子どもの提案に、その都度質問をする感じです。

この説明で、使うイメージがわかりましたか？

「どうして？」を使う時の注意点2つ。

ただ、2つ注意点があります。

一つ目は、絶対に詰問口調で聞かないこと。

もう一つは、子どもが一生懸命考えて出した理由は、どんなにバカげていると思っても、決してけなしたり笑ったりしないことです。

それが、その子にとっての理由なのです。正しいも間違いもありません。

「あ～そうなんだ」と必ず肯定的に受け止めて、楽しい会話にしましょう。

「どうして？」のたった一言で会話も弾み、考える力も伸びるので、使わない手はないですよ。



- ※ 旧梅香小学校から長きに渡って安全管理員として子どもたちの安全管理の仕事をしていただいていた河村要二さんが、11月中旬をもって解職しました。その後任に以前に旧北難波小学校でお世話になっておりました中島克敏(ナカシマカツトシ)さんが新たに着任しましたのでお知らせします。



生活目標

『あたたかい言葉がけをしよう』

☆諸費振替 3日(木) 今月は1回のみ  
引き落としです。通帳をお確かめ下さい。

## 12月の行事予定

1日(火)	朝会 5年出前授業 日新中トライやるウィーク ～4日まで	8日(火)	給食集会 4年出前授業
2日(水)	委員会活動	9日(水)	クラブ
3日(木)	3年キッズ検定 なかよし給食 代表委員会	10日(木)	参観・懇談 3年キッズ検定 5年学年活動
4日(金)	5年出前授業	11日(金)	2年赤ちゃん先生 4年キッズ検定
5日(土)	親子ふれあいたこ作り (中央中)	14日(月)	人権週間～18日まで
6日(日)	身体障害者センター三〇周年 記念事業こぼと太鼓出演	15日(火)	集会
7日(月)	給食週間～11日(金)まで 5・6年こころの教育講演会	17日(水)	地区児童会一斉下校(5校時)
		22日(火)	給食終了
		23日(水)	天皇誕生日
		25日(金)	終業式 大掃除
		26日(土)	～1月6日(水) 冬季休業日

1月の主な行事 始業式1月7日(木) 8日(金) 給食開始  
18日(月)「1. 17はわすれない」防災訓練

### ☆5年出前授業(アウトリーチ事業) 1日(火)

アルカイックのクラシックコンサートを聞きます。視聴覚室で行います。

### ☆なかよし給食 3日(木) 12:20～昼安み

異学年交流の機会として、ペア学級が半分に分かれて、給食を食べ、その後ゲームをします。給食の準備や片付け、ゲームなどは、高学年がします。高学年はお手本として、低学年は、高学年に協力して交流を深めます。

### ☆こころの教育講演会 7日(月) 13:45～14:30

5・6年生を対象に兵庫県警サイバー犯罪対策課より、スマートフォン等情報機器の正しい取り扱いを通して規範意識の育成をテーマに講演していただきます。

### ☆地区児童会・一斉下校 17日(水) 5時間目

緊急時の下校方法や通学路、引き渡し場所を確認するために行います。地区班で話をした後、地区班ごとに順次下校します。上靴を持って帰りますので、次の日持たせて下さい。

### ☆冬休み 26日(土)～1月6日(水)

年末年始の日本の行事にふれたり、家族で楽しいひとときを過ごしたりと健康で有意義な冬休みをお過ごし下さい。また、誘惑も多くなります。夜子どもだけで外に出ることは、子どもの身を危険にさらすことにもつながりかねません。十分に気を付け、安全に過ごしてほしいです。

### ☆持ち物に名前を!

寒くなり、上着など落し物が増えています。記名をお願いします。